

日本比較 文学会 全国大会

[第78回]

2016.6.18 sat. → 6.19 sun.

東京大学 東京都目黒区駒場 3-8-1

21 Komaba Center for Educational Excellence

シンポジウム テクストの声を聞く

ワークショップⅠ 世界のなかの漱石／漱石のなかの世界
—— 新たなる研究の地平へ

ワークショップⅡ 文学をどう教えるか

◎ 一般来聴歓迎

◎ 入場無料

〔お問い合わせ〕

比較文学比較文化研究室

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学 教養学部 18号館 3階

TEL 03-5454-6330



日本比較文学会 第78回 全国大会

プログラム

会場◎ 東京大学 駒場Iキャンパス 21 KOMCEE EAST

本部◎ 18号館3階 比較文学比較文化研究室

控室◎ 21 KOMCEE WEST MMホール

大会進行役◎ 東京大学 菅原 克也 / 東京大学 今橋 映子



第1日 6.18 sat.

10:00~12:00	◎18号館4階・オープンスペース	理事会Ⅰ
議長:東京工業大学 戦 暁梅		
12:00		受付開始
13:00	◎K011教室	開会
開会の辞:日本比較文学会会長・立命館大学 西 成彦 挨拶:東京大学大学院総合文化研究科長 小川 桂一郎		
13:20~14:30	(各室2名)	研究発表Ⅰ
A室	◎K211教室	
①アメリカ・ミシガン大学での講義体験が佐伯彰一にもたらしたもの —— 1960年代における変貌を巡って 名古屋工業大学 大貫 徹 司会:東京工業大学(非常勤) 浜崎 洋介		
②冷戦期日米文化交流における文学者のアメリカ体験 —— 庄野潤三のガンビア滞在を一例として 東京大学(特任研究員) 金 志映 司会:東京工業大学(非常勤) 浜崎 洋介		
B室	◎K212教室	
①芥川龍之介と『聊斎志異』 —— 「酒虫」材源の再考を中心にして 大阪大学(院) 陳 潮涯 司会:東京工業大学 劉 岸偉		
②「国語の成長」のために —— 周作人と柳田国男の方言研究 大阪大学(非常勤) 王 蘭 司会:東京工業大学 劉 岸偉		
C室	◎K213教室	
①森鷗外とオクトーバーフェスト 大東文化大学 美留町 義雄 司会:北九州市立大学 岩本 真理子		
②夏目漱石の文学理論における読者の感情の意義 —— ヴァーノン・リーのEmpathyの美学を視座として 東北大学(院) 木戸浦 豊和 司会:国文学研究資料館 野網 摩利子		
D室	◎K214教室	
①瀬田貞二訳『指輪物語』における地名の訳し分け —— 中つ国・イングランド・日本 東京大学(院) 川野 芽生 司会:千葉大学 佐藤 宗子		
②アメリカにおける初代ゴジラの受容 立命館大学 池田 淑子 司会:新潟大学 猪俣 賢司		
14:40~16:40		ワークショップ
ワークショップⅠ	◎K212教室	
世界のなかの漱石／漱石のなかの世界 —— 新たなる研究の地平へ 司会・報告:飛ヶ谷 美穂子 報告:福岡工業大学 徳永 光展、フェリス学院大学 佐藤 裕子		
ワークショップⅡ	◎K213教室	
文学をどう教えるか 司会・報告:甲南大学 中島 俊郎 報告:上智大学 新井 潤美、早稲田大学 榊原 理智		
16:50~17:10	◎K011教室	学会賞授与式
17:10~17:50	◎K011教室	総会
議長:大阪大学 橋本 順光		
18:10~20:10	◎ファカルティ・ハウス	懇親会
司会:東京大学 寺田 寅彦、山形大学 伊藤 豊		

第2日 6.19 sun.

10:00~11:45	(各室3名)	研究発表Ⅱ
A室	◎K211教室	
①田村隆一と表現主義詩人たちの比較研究 —— 詩における「恐怖」の表象を主眼として 北海道大学(院) 陳 璇 司会:広島大学 西原 大輔		
②日夏耿之介のブレイク受容をめぐる山宮允との交流について 前橋国際大学(非常勤) 水野 太朗 司会:広島大学 西原 大輔		
③北村透谷『蓬莱曲』とカーライル『サーター・リザータス』 都留文科大学 菊池 有希 司会:関西学院大学 大東 和重		
B室	◎K212教室	
①エンリケ・ゴメス・カリージョが捉えた「日本」 —— 紀行文の方法論と先行する日本像との比較を中心に 大阪大学(院) ファクンド・ガラシーノ 司会:静岡大学 花方 寿行		
②詩歌合から見る和漢並存 —— 『文安詩歌合』を中心に 東北公益文科大学 呉 衛峰 司会:愛知学院大学 岩田 和男		
③「民族文学」への回帰 —— 李光洙『私の告白』 桜美林大学 鄭 百秀 司会:九州大学 波湯 剛		
C室	◎K213教室	
①戦時期の日本におけるポール・ブルジェの受容について お茶の水女子大学 田中 琢三 司会:金沢大学 岩津 航		
②フロニーにおける象徴主義受容と〈北方〉の象徴主義美学の形成 —— エクトール・シェネー『ものの魂』を手掛かりとして 北里大学 三田 順 司会:金沢大学 岩津 航		
③動物の知能と保護思想 —— 1960年代以降の欧米的イルカ観が意味するもの 東洋大学 信岡 朝子 司会:東京理科大学 中丸 禎子		
D室	◎K214教室	
①ポール・オースター『闇の中の男』における安部公房受容 —— 『砂の女』とバラレル・ワールド 九州大学(院) 大場 健司 司会:山形大学 森岡 卓司		
②フランスにおける総合的日本研究の萌芽 —— クロード・メートルを例として 日本学術振興会特別研究員PD 林 久美子 司会:国際日本文化研究センター 稲賀 繁美		
③英国の風景を描いた二人の東洋人画家・随筆家 —— 牧野義雄と蔣彝 読売日本テレビ文化センター(非常勤) 範 麗雅 司会:国際日本文化研究センター 稲賀 繁美		
12:00~13:00	◎18号館4階・オープンスペース	理事会Ⅱ
議長:福岡大学 大嶋 仁		
13:30~16:30	◎K011教室	シンポジウム
テキストの声を聞く 司会・講師:東京大学 菅原 克也 講師:大東文化大学 千葉 一幹、明治大学 中村 和恵、作家 崎山 多美		
16:40	◎K011教室	閉会の辞
日本比較文学会代表理事・東北大学 佐藤 伸宏		